

2023年度（2023年4月～2024年3月）

環境経営レポート



Be a driver.



株式会社 南九州マツダ

2024年6月23日発行



株式会社 南九州マツダ

2010年4月1日

改定 2024年4月1日

環 境 経 営 方 針

【基本理念】

株式会社南九州マツダは、自動車販売・整備等全ての事業活動において、地球環境との共生が人類共通の最高課題の一つである事を認識し、環境を重視した企業活動によりよい豊かで安心できる社会作りに貢献します。

【行動方針】

- (1) 環境法令の遵守と環境保全の促進、環境負荷の低減、環境汚染の防止に努めます。
- (2) 企業活動全ての領域で、省資源、省エネルギー、リサイクル活動、化学物質の適正管理を推進します。
- (3) 環境管理システムの構築・運用と継続的改善に努めます。
- (4) 全社員へ向け公平で質の高い教育を提供、先々有効となる学びの機会を促進します。
- (5) 全社員は環境教育や広報活動に自主的に参画し、一人ひとりの環境に対する意識の向上に努めると共に、この環境経営方針は社外にも公開いたします。

2024年4月1日

株式会社 南九州マツダ

代表取締役社長

松浦 実

1. 事業所名及び代表者名

株式会社 南九州マツダ
代表取締役社長 松浦 実

2. 所在地

鹿児島県鹿児島市新栄町4番地4号

3. 事業内容（認証・登録範囲）

乗用車・商用車の新車販売
中古自動車販売
部品・用品等の販売
自動車整備業
損害保険代理業

4. 事業の規模

1) 事業所数 26事業所（熊本県下 8事業所、宮崎県下 10事業所、鹿児島県下 8事業所）

2) 対象事業所 全事業所

従業員数	444名	（2023年度） ※2024/3/31時点
年間売上高	154億円	（2023年度）
年間新車・中古車販売台数	3,305台	
年間整備入庫台数	78,371台	

5. 環境管理責任者及び担当者

環境管理責任者 営業支援本部 執行役員
濱武 弘光

EA21推進事務局 営業推進本部 TCM推進部 課長
尾山 澄人

担当連絡先 営業推進本部 TCM推進部 課長
尾山 澄人

☎099-255-3331 FAX 099-255-2333

6. 取扱い車種

乗用車



MAZDA2
コンパクト



MAZDA3 FASTBACK
5ドアスポーツ



MAZDA3 SEDAN
4ドアセダン



MAZDA6 SEDAN
4ドアセダン



MAZDA6 WAGON
ステーションワゴン



MAZDA CX-3
SUV/クロスオーバー



MAZDA CX-30
SUV/クロスオーバー



MAZDA CX-5
SUV/クロスオーバー



MAZDA MX-30 EV MODEL
SUV/クロスオーバー



MAZDA MX-30
SUV/クロスオーバー
コンパクト



MAZDA CX-60
SUV/クロスオーバー
コンパクト



MAZDA ROADSTER
スポーツ



MAZDA ROADSTER RF
スポーツ
コンパクト

軽自動車



FLAIR
ワゴン



FLAIR WAGON
4ドアセダン
ハイトワゴン



FLAIR CROSSOVER
SUV/クロスオーバー



CAROL
コンパクト



SCRUM WAGON
ワンボックス

6. 取扱い車種

商用車・特装車



BONGO BRAWNY VAN
[ガソリン] [ディーゼル]
バン (0.85~1.25t)



BONGO VAN
[ガソリン]
バン (0.5~0.75t)



BONGO TRUCK
[ガソリン]
トラック (0.75~0.8t)



FAMILIA VAN
[ガソリン]
バン (0.25~0.4t)



TITAN DUMP
[ディーゼル] [特装車]
ダンプ



TITAN
平ボディ・Wキャブ・スペースキャブ
[ディーゼル] [特装車]
トラック (1.75~4.6t)



SCRUM VAN
[ガソリン] [軽自動車]
バン (0.25~0.35t)



SCRUM TRUCK
[ガソリン] [軽自動車]
トラック (0.35t)

福祉車両



MX-30
Self-empowerment Driving Vehicle



MAZDA CX-5
助手席リフトアップシート車



MAZDA2
助手席回転シート車



MAZDA ROADSTER
Self-empowerment Driving Vehicle



MAZDA ROADSTER RF
Self-empowerment Driving Vehicle



MAZDA FLAIR WAGON
車いす移動車

7. 対象事業所

【熊本】

南高江店	東店	飛田店	浜線店	玉名店	光の森店
熊本市南区南高江1丁目13番8号 ☎096-357-8111	熊本市東区新南部4丁目4番23号 ☎096-381-0238	熊本市北区飛田4丁目8番33号 ☎096-343-6868	熊本市南区出仲間6丁目10番1号 ☎096-378-6831	玉名市中1334番地3号 ☎0968-74-2151	菊池郡菊陽町光の森7丁目30番地4 ☎096-233-0001
					
八代店	人吉店	熊本BAC	熊本事業部		
八代市上片町1630-1 ☎0965-33-3125	人吉市下城本町1377-1 ☎0966-23-3237	熊本市南高江1丁目710番4号 ☎096-357-5686	熊本市南区南高江1丁目13番8号（南高江店 2F） ☎096-357-8116		
					

【宮崎】

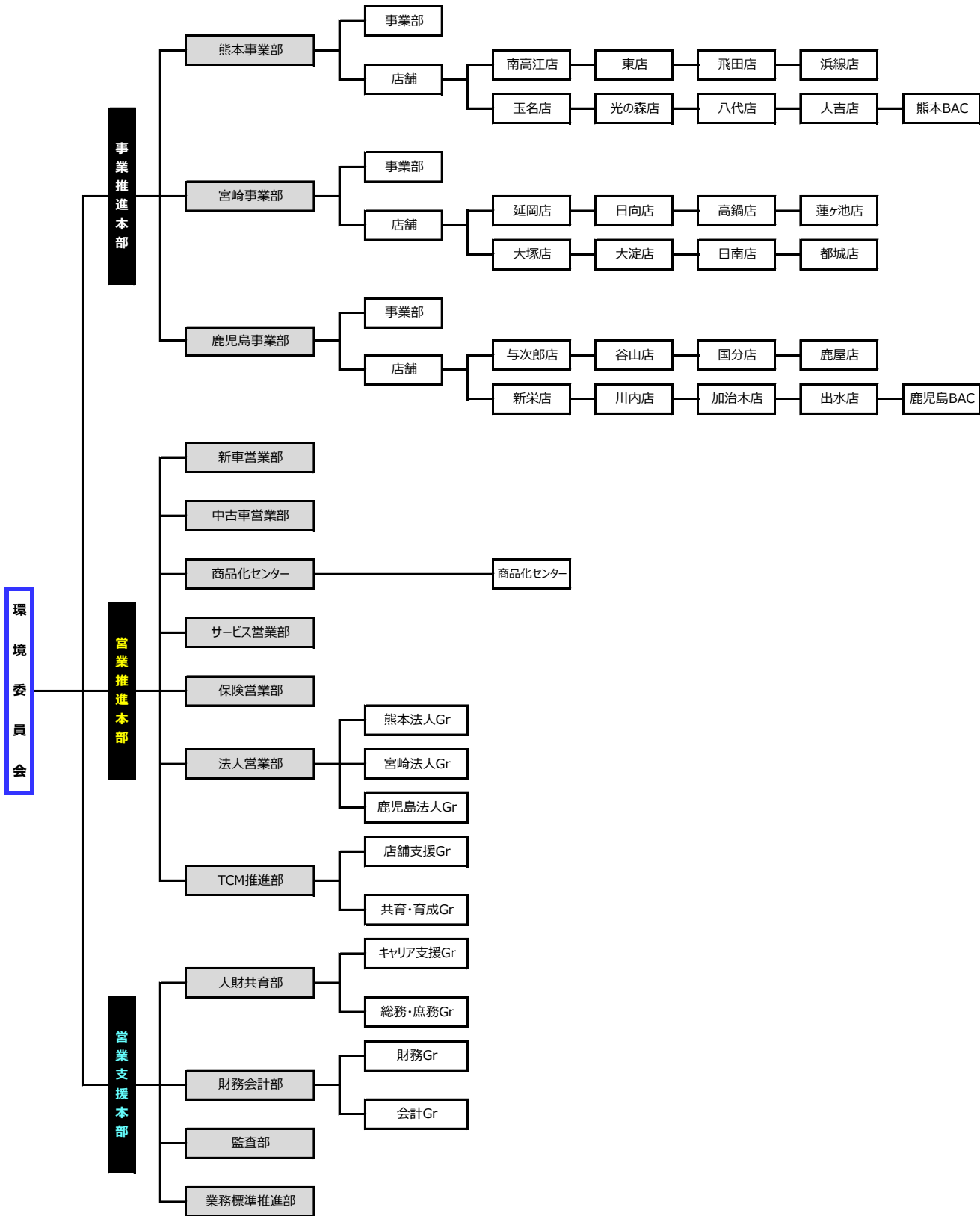
延岡店	日向店	高鍋店	蓮ヶ池店	大塚店	大淀店
延岡市浜町411-1 ☎0982-33-4381	日向市大字日知屋字玉田16546 ☎0982-52-5171	児湯郡高鍋町大字北高鍋2822-1 ☎0983-22-1246	宮崎市大字芳土中原616-3 ☎0985-39-5611	宮崎市大塚町池ノ内1192 ☎0985-62-3781	宮崎市大字恒久字小橋4398-3 ☎0985-51-2124
					
日南店	都城店	商品化センター	宮崎事業部		
日南市上平野町1丁目6-1 ☎0987-23-4101	都城市都北町6379 ☎0986-38-1818	宮崎市佐土原町大字下那珂7511-4 ☎0985-74-3141	宮崎市佐土原町大字下那珂7501-1 ☎0985-24-6206		
					

【鹿児島】

与次郎店	谷山店	国分店	鹿屋店	新栄店	川内店
鹿児島市与次郎1丁目4-16	鹿児島市東開町4-7	霧島市国分広瀬3丁目29-4	鹿屋市笠之原町2085-1	鹿児島市新栄町4番4号	薩摩川内市上川内町4228
☎099-251-8181	☎099-269-1311	☎0995-45-1071	☎0994-43-4151	☎099-255-1161	☎0996-22-3146
					
加治木店	出水店	鹿児島BAC	鹿児島事業部	本部	
始良市加治木町木田241-1	出水市黄金町404	鹿児島市新栄町4番4号	鹿児島市新栄町4番4号 (新栄店 2F)	鹿児島市新栄町4番4号 (新栄店 2F)	
☎0995-62-3181	☎0996-62-1145	☎099-255-1511	☎099-255-1167	☎099-255-3331	
					

南九州マツダ 環境経営システム組織図

2024/3/31 環境委員変更



環境委員会	
環境統括責任者	松浦 実
環境管理責任者	濱武 弘光（営業支援本部）
環境委員	山口 高王（新車・保険営業部） 松元 則子（TCM推進部） 中田 唯之（中古車営業部） 日向 忠男（サービス営業部） 時村 勇作（人財共育部）
EA21環境事務局	尾山 澄人（TCM推進部）

南九州マツダ環境目標

事業活動で生じる環境への影響が大きい電力使用量、化石燃料（ガソリン、軽油、灯油、LPガス、都市ガス）、化学物質の適正管理、廃棄物排出量、水使用量等の削減に取り組む。

1. 環境負荷の現状

全店舗実績

注) CO₂ 排出係数 : 0.463kg-CO₂/kwh

項目		単位	2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績
二酸化炭素		kgCO ₂	1,342,235	1,464,171	1,289,283
電力使用量		kWh	1,870,996	2,018,538	1,867,638
化石燃料	ガソリン	ℓ	107,452	140,457	100,708
	軽油	ℓ	66,636	53,842	56,878
	灯油	ℓ	112	57	89
	LPG	kg	17,056	20,643	13,720
	都市ガス	Nm ³	66	41	39
廃棄物排出量		t	374	299	299
リサイクル量		t	320	352	352
水使用量		m ³	17,894	16,394	14,487
グリーン購入		千円（％）	2,117（80％）	1,307（60％）	1,282（50％）

2. 環境目標

全店舗目標

注) CO₂ 排出係数 : 0.463kg-CO₂/kwh

		単位	2023年目標	2024年度目標	2025年度目標
二酸化炭素		kgCO ₂	1,289,283	1,282,837	1,276,422
電力使用量		kWh	1,867,638	1,858,300	1,849,008
化石燃料	ガソリン	ℓ	100,708	100,204	99,703
	軽油	ℓ	56,878	56,594	56,311
	灯油	ℓ	89	88	88
	LPG	kg	13,720	13,652	13,583
	都市ガス	Nm ³	39.0	38.8	38.6
廃棄物排出量		t	299	297	296
リサイクル量		t	352	352	352
水使用量		m ³	14,487	14,415	14,343
グリーン購入		千円 (%)	1,282 (50%)	—	—

* 2023年度は2022年度実績より増加させないよう努力するものとした。

※設定理由：今迄の取組み経緯と過度な削減目標設定は取組み意識の低下、最終的にお客様へご迷惑をお掛けするとの観点から

* 2024年度、2025年度目標については具体的目標を設定（前年比0.5%削減）※リサイクル量を除く

* グリーン購入については項目設定時の役割を終えたものと判断、2024年度取組み項目より除外する。

* 化学物資の適正管理（BACに該当） ※使用量の把握、保管状況

1. 二酸化炭素排出量の削減

1) 電力使用量の削減

① 不要な照明の消灯、節電の徹底

- ・毎月使用量の把握と節電意識を定着
- ・照明等については順次LED照明へ交換
- ・メジャーサインなどは季節毎に点灯時間を見直し、原則20時に消灯
- ・PC定時自動シャットダウンと定時退社日の定時退社を励行
- ・不要な広告看板、事務所、工場照明の各消灯
- ・昼休み時間及び未使用時の休憩室、工場等の照明消灯

② 冷暖房設定温度の管理

- ・事務所内は実温度に見合った冷房温度とし、暖房は20℃を基本設定
- ・ショールーム内等お客様スペースは体感適温管理

③ エアコンフィルターの定期清掃

- ・清掃日を決めて、適宜清掃する

④ 待機電源オフの徹底

- ・退社時、定休日前日の退社時に確認

2) 化石燃料使用量の削減

① 定例会議の参加は乗合にて参集

- ・「エコドライブ10のすすめ」の実践
- ・WEB会議の活用と推進

② 燃費向上対策

- ・空気圧点検と車載不要物のチェック
- ・エコオイル交換とエアエレメントの定期清掃
- ・定期点検の実施

③ LPガス、都市ガス使用量の抑制

- ・給湯設定温度の管理

2. 廃棄物排出量の削減

① 紙使用量の削減

- ・両面、縮小コピーの活用
- ・コピー機使用後は誤コピー防止の為、設定のリセット確認
- ・会議資料のペーパーレス化（紙資料提供の抑制）

② 一般ゴミの分別推進

- ・種類別ゴミ箱の設置でリサイクルの促進

③ 詰め替え製品の購入

④ 産業廃棄物の適正分別管理

- ・廃棄物収集・運搬業者へ再利用・リサイクル促進

3. 水使用量の削減

①水使用量の把握と漏水の確認

- ・毎月使用量の把握と漏水のチェック

②水の適正使用の徹底

- ・ストップノズルの活用
- ・節水効果型門型洗車機の導入

4. グリーン購入

- ・グリーン購入については、対象を5品目を定め、総購入金額の60%をグリーン購入となるよう取組む。

※対象5品目（コピー用紙、事務用品、電池、洗剤、トイレトペーパー）

尚、購入に際しては通常品との価格差も考慮して購入

5. その他

①省エネルギー対応設備の導入

- ・新規出店、店舗改装の際は環境に配慮した設備の導入

②環境活動計画書の作成

- ・取組み内容と各担当者の策定
- ・取組み改善活動の定着（P⇒D⇒C⇒A）

1. 2023年4月～2024年3月実績

全社合計

項目		単位	基準年 2008年度 実績	2022年度 実績	2023年度（2023/4～2024/3）						
					目標	実績	前年比 削減 実施率	評価	基準年比 削減 目標率	基準年比 削減 実施率	基準年 からの 削減量
二酸化炭素排出量		kg-CO ₂	3,424,141	1,310,951	1,310,951	1,245,023	5%	○	62%	64%	2,179,118
電力使用量		kWh	2,433,729	1,867,638	1,867,638	1,753,976	6%	○	23%	28%	679,753
化石 燃料	ガソリン	ℓ	539,122	100,708	100,708	92,321	8%	○	81%	83%	446,802
	軽油	ℓ	102,214	56,878	56,878	67,899	-19%	×	44%	34%	34,315
	灯油	ℓ	2,526	89	89	37	58%	○	96%	99%	2,489
	LPG	kg	26,512	10,154	10,154	13,404	-32%	×	62%	49%	13,108
	都市ガス	Nm ³	214	39	39	36	8%	○	82%	83%	178
廃棄物排出量		t	576	316	316	307	3%	○	45%	47%	269
リサイクル量		t		315	315	275	—	×	—	—	—
グリーン購入		千円		1,282	1,282	1,515	—	○	—	—	—
水使用量		m ³	29,677	14,487	14,487	14,550	0%	○	51%	51%	15,127

注) CO₂ 排出係数：0.463kg-CO₂/kwh

2. 取組み結果の評価

1) 二酸化炭素排出量

- ・基準年比 ▲64%、前年比 ▲5%となった。
- 電力使用量、ガソリン使用量減が排出量抑制に大きく寄与した。

2) 電力使用量

- ・基準年比▲28%削減、前年比▲6%となった。
- ・前年度同様、猛暑による使用量増が懸念されたものの、働き方（残業のあり方）等の推進により、結果として使用量減となった。

3) 化石燃料

- ・前年比でガソリン ▲8%、軽油 +19%、灯油 ▲58%、LPG +32%、都市ガス ▲8% となった。
- ガソリン、軽油の増減については主に社用車・デモカーのディーゼル車配備構成比増によるもの。

4) 廃棄物排出量

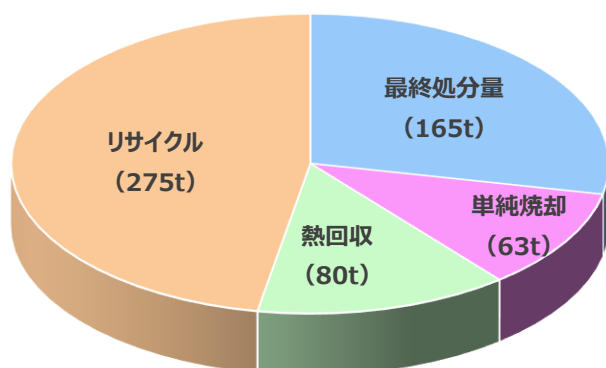
- ・基準年比 ▲47%、前年比 ▲3%
- 廃棄物排出量の抑制の為に産廃分別保管による廃金属処分（有価処分）とリサイクル処分へ取組みを推進。

5) 水使用量

- ・基準年比 ▲51%、前年比 ±0%となった。

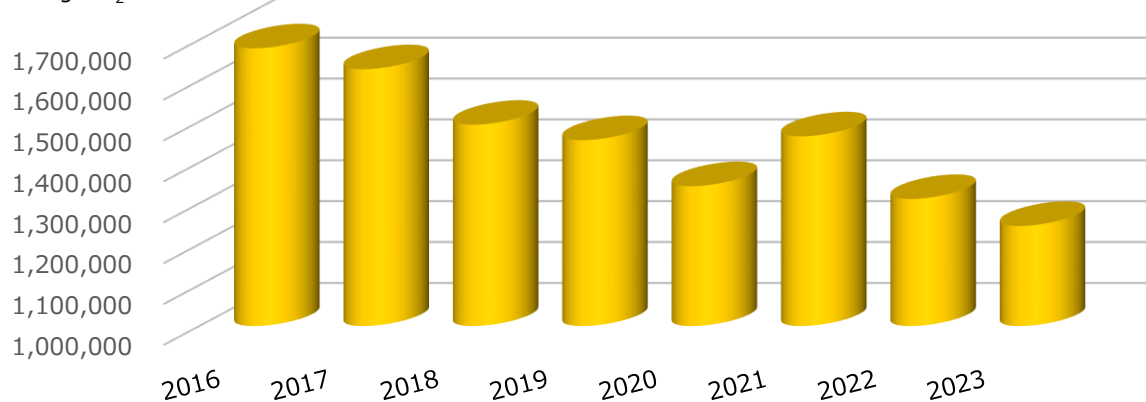
◆2023年度 廃棄物処分内訳（産業廃棄物＋一般廃棄物）

※総量：583t



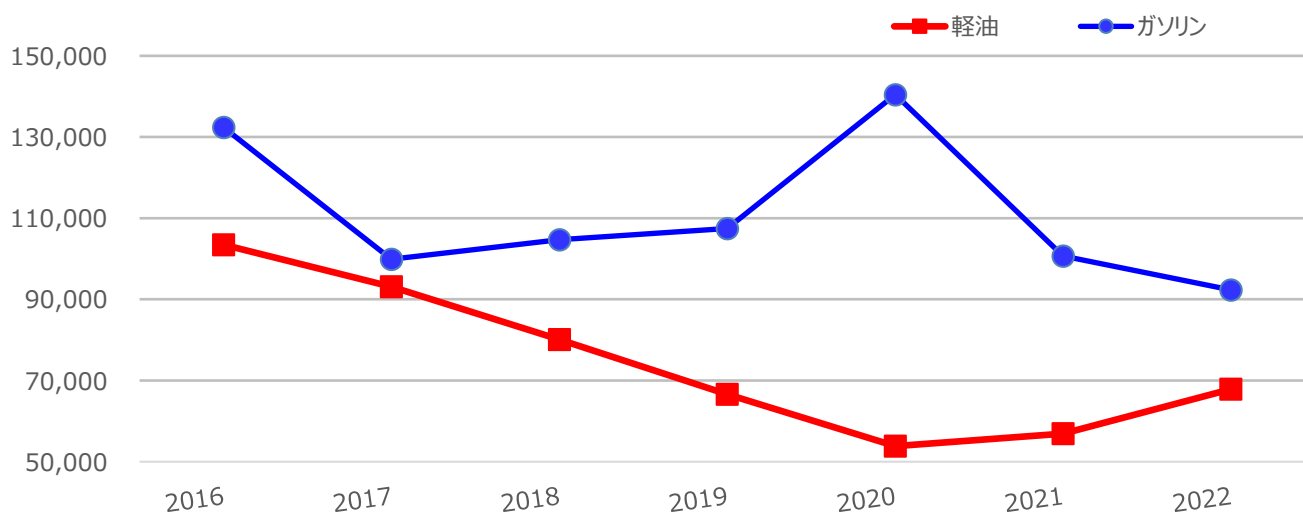
◆温室効果ガス（CO₂）排出量推移

単位：kg-CO₂



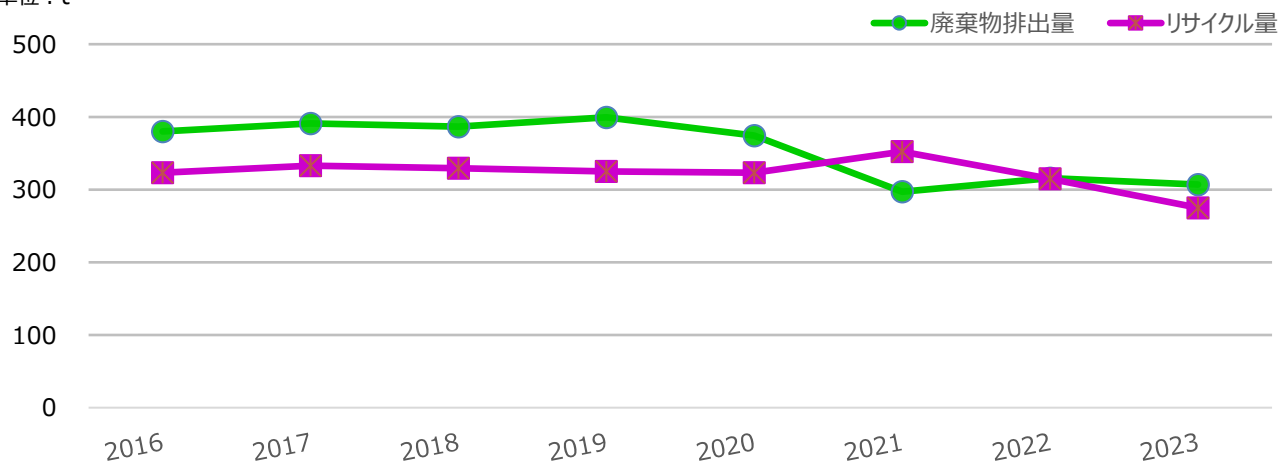
◆ガソリン・軽油使用量推移

単位：ℓ



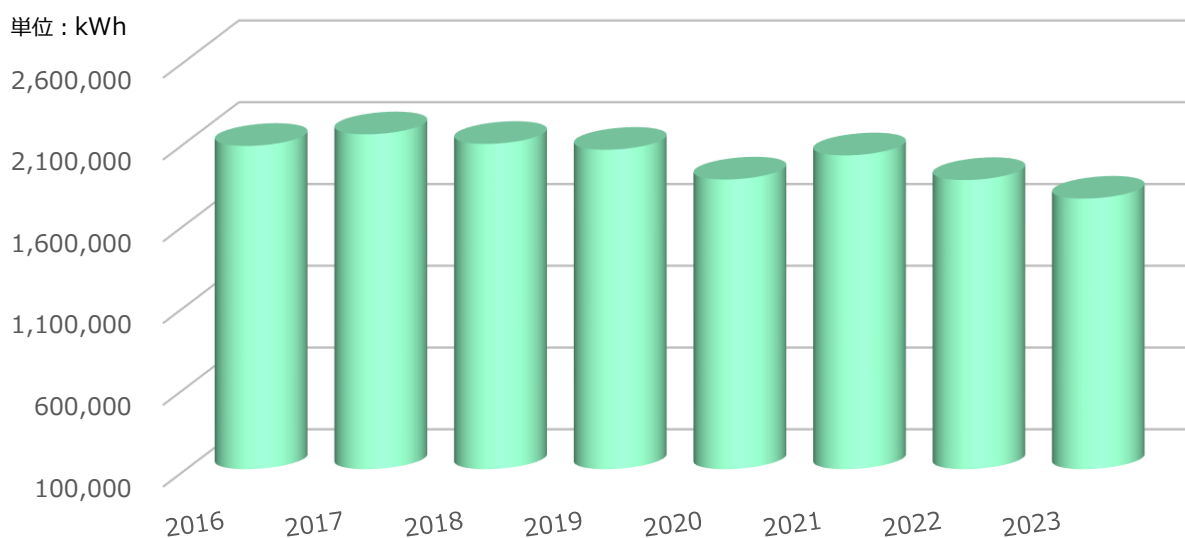
◆廃棄物排出量とリサイクル量の推移

単位：t



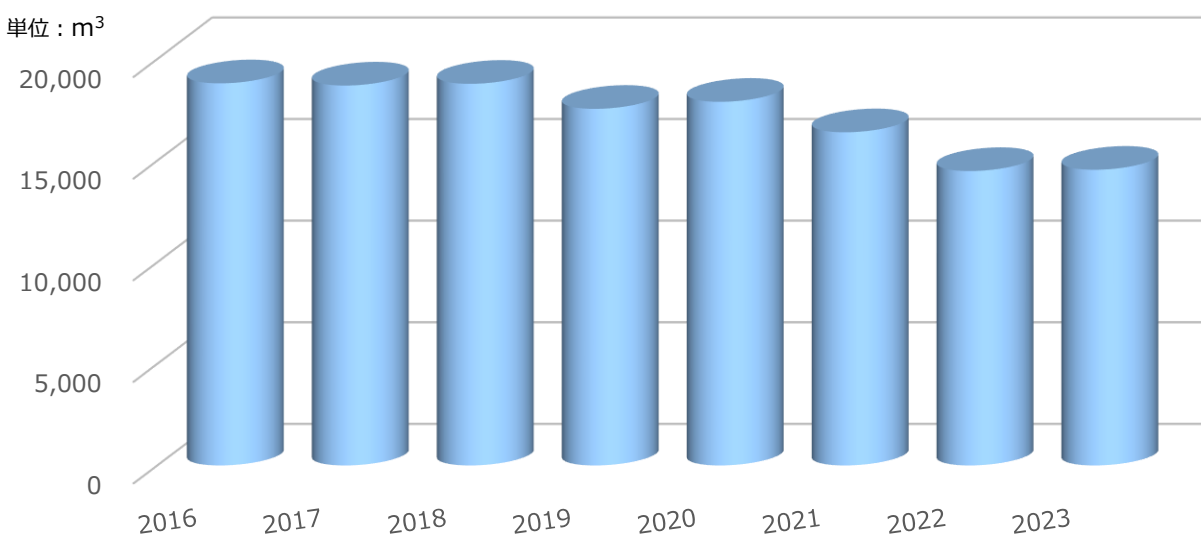
◆電気使用量推移

単位：kWh



◆水使用量推移

単位：m³



7) グリーン購入の推進

	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績
対象品目購入金額（千）	1,307	2,552	2,815
グリーン購入金額（千）	2,168	1,282	1,515
グリーン購入比	60%	50%	54%

・対象品目購入金額の50%

目標の60%は未達となったものの、前年 + 4 %となった。

【対象品目】

①コピー用紙（再生紙） ②事務用品 ③エコ電池 ④エコ洗剤 ⑤トイレトーパー

8) 化学物質（特にオイル関係）の管理徹底（流出事故の防止と発生時の対応）

・流出事故を想定した訓練の実施により、作業手順及び備品（吸着マット等）の取扱いについて共有する事が出来た。

9) 廃棄物分別保管によるリサイクルの推進

	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績
リサイクル量（t）	352	315	275

・前年比 ▲40 t（13%減）で推移

10) PRTR法対応について

※対象事業所：熊本・鹿児島BAC、商品化センター 対象物質：塗料、シンナー（トルエン、キシレン）

従来より対象物質含有量が少なく、作業担当者への影響も少ない環境型塗料の導入済以降年間取扱い算定量が減少、届出対象外となっている。

※1.各年間取扱算定量（Kg） ※2.年間取扱量1 t 以上/事業所毎 で行政へ届出

	トルエン	キシレン
熊本BAC	222	3
商品化センター	194	13
鹿児島BAC	448	190

11) 2024年度の取組み内容

- ①温室効果ガス（CO₂）排出量、廃棄物排出量、水使用量を前年比0.5%削減する。
- ②廃棄物分別保管によるリサイクルの推進（廃棄物排出量の抑制）
- ③化学物質（特にオイル関係）の保管管理の徹底（流出事故等の防止）

1. 環境関連法規

法令名称	要求事項	適用される施設項目	遵法評価		
			熊 本 事 業 部	宮 崎 事 業 部	鹿 児 島 事 業 部
水質汚濁防止法	特定施設の届出、水質検査・行政への報告	自動洗車機	○	○	○
下水道法	特定施設の届出	自動洗車機	○	○	○
浄化槽法	設置または変更時の届出 定期点検・清掃、水質検査	浄化槽	○	○	○
騒音規制法	規制基準の遵守と届出	空気圧縮機 送風機	○	○	○
振動規制法	規制基準の遵守と届出	空気圧縮機	○	○	○
悪臭防止法	規制基準遵守	塗装用乾燥設備	○	○	○
廃棄物の処理及び清掃に 関する法律	一廃・産廃の適正保管、マニフェストの管理、 交付状況報告	廃棄物置場 産廃マニフェスト	○	○	○
使用済自動車の再資源化 等に関する法律	・自動車廃棄時の使用済み自動車の適正処理 ・フロン類回収業者の登録と更新（5年毎）	使用済み自動車	○	○	○
フロン排出抑制法	・機器の点検 ・繰り返し充填の禁止 ・点検履歴の保存・開示 ・漏洩時の報告 ・委託充填 ・自己充填	業務用エアコン	○	○	○
PRTR法	第一種指定化学物質の排出量及び移動量の 把握と年度毎事業所ごとの該当行政への報告	塗料、シンナー (トルエン、キシレン)	○	○	○
消防法	・火災報知機、消防用設備の設置 ・危険物取扱い	消火器/第4類 危険物貯蔵量	○	○	○

2. 違反・訴訟の有無

環境関連法規の違反は無く、過去3年関係機関からの指摘や利害関係先からの苦情及び訴訟等はありません。

会社名	株式会社 南九州マツダ
活動期間	2023年4月1日～2024年3月31日

	項目	確認
1	内部監査の結果	☒ 実施 ☐ 未実施
2	環境目標及び目標達成状況	☒ 実施 ☐ 未実施
3	環境活動計画及び取組み実施状況	☒ 実施 ☐ 未実施
4	環境関連法令一覧表及び遵守状況	☒ 実施 ☐ 未実施
5	外部コミュニケーション・対応記録	☒ 実施 ☐ 未実施
6	問題点の是正・予防措置の実施状況	☒ 実施 ☐ 未実施
7	取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	☒ 実施 ☐ 未実施
8	その他	☒ 実施 ☐ 未実施

評価者	代表取締役社長 松浦 実	実施日	2024年6月23日
-----	--------------	-----	------------

全体評価・コメント（環境経営システムへの有効性・環境への取組みの適切性等）

- 2023年度目標は2022年度実績に対し、CO₂発生量、他環境項目共に2022年度実績から増加させないとして取り組んだ。
コロナ禍を反映した時間外勤務の抑制から緩和へと移行した為、増加するのではと予想していたものの、2022年度比 電気使用量 6%減となり、結果としてCO₂排出量も5%減となった。廃棄物排出量については、分別保管によるリサイクル処分への取組みを推進し、2022年度比3%減となった。
今後も社員の環境意識の向上と特別な取組みではない実務に沿った取組みを推進し、環境に優しい企業を目指す。
- 2024年度取組みについて
 - ・削減目標は「前年度から温室効果ガス排出を増加させない」から「前年比0.5%削減」とする。
 - ・前年取組み同様、化学物質（特にオイル関係）の保管管理の徹底（流失事故の防止）については継続取組みとする。
 - ・グリーン購入の推進については設定当初の目的を一定レベルまで達成できたものと判断し、取組み項目から除外する。

	見直し項目	変更の必要性
代表者による 全体評価・ 見直し	1 環境経営方針	☐ 有 ☒ 無
	2 環境目標	☐ 有 ☒ 無
	3 環境活動計画・取組み項目	☐ 有 ☒ 無
	4 環境に関する組織	☐ 有 ☒ 無
	5 その他のシステム要素	☐ 有 ☒ 無
	6 その他（外部への対応等）	☐ 有 ☒ 無